

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.55)

◎PCB 廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から平成30年9月30日までの処理実績は下表のとおりです。

処理状況 対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,592台（93%）	1,200台（95%）
コンデンサ類	75,343台（95%）	13,514台（95%）
PCB油類	1,510本（87%）	561本（94%）

※登録台数等は平成30年3月31日現在の数値。

◎PCB 廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会の開催について

8月10日、第31回PCB廃棄物処理事業検討委員会大阪事業部会（JESCO主催、主査：酒井伸一京都大学環境科学センター長）を開催しました。

今回は、「大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況」や「事業所の長期保全の取り組み」等についてご報告しました。

操業状況については、トランス・コンデンサ類の処理進捗状況のほか、環境モニタリング・緊急時訓練の実施状況、掘り起こし・総ざらい活動、処理手間物への取り組み状況に加え、大阪府北部地震への対応状況、また、長期保全の取り組みについては、平成30年度の設備点検・改善状況等をご報告いたしました。

委員からは、地震等の緊急時対応について、適切にフォローしていくこと、また、掘り起こし・総ざらい活動について、保管事業者に対し行政等と連携し早期処理に取り組むよう、ご助言等をいただきました。

当事業所では、今後も、引き続き本事業部会等での有識者のご意見を踏まえ、安全・確実な処理を進めてまいります。



◎台風21号の影響について

9月4日、25年ぶりに非常に強い勢力の台風21号が日本に上陸し、大阪市内では最大瞬間風速毎秒47.4mが観測され、交通機関に大きな影響が出ました。

当事業所は、定期点検工事中でPCB処理は停止しておりましたが、運転会社や工事業者等と協力し、施設周辺のパトロール、カラーコーン・掲示物等の退避、工事業者仮設ハウスのガラス窓のチェック等、強風による被害の未然防止を行いました。

台風通過後、事業所内の確認を行った結果、影響は予想以上で、定期点検のために設置した仮設ハウスのずれや、屋外スピーカーの破損等が発生しましたが、処理設備等への被害はありませんでした。

今年は自然災害が多く、引き続き災害等に備えた安全対策を講じてまいります。



ずれた仮設ハウス

◎高濃度 PCB 廃棄物の早期処理に向けた活動について

関係府県市では、各管内における未処理のPCB使用製品やPCB廃棄物を網羅的に把握するための掘り起こし作業が続けられており、これと並行して、関係機関が協力しPCBの早期処理を促進するための説明会を開催しています。

7月には、一般社団法人日本電気協会等が主催する「平成30年度電気使用安全月間説明会」において、中部近畿産業保安監督部近畿支部や近畿の関係府県市及び当事業所が協力して、高濃度PCB廃棄物の早期登録、早期処理を働きかけました。11会場で開催し、約2,000名の方に参加いただきました。

今後とも、関係府県市及び関係機関と協力して高濃度PCB廃棄物の早期処理を進めてまいります。



◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、平成30年9月30日現在で11,167名(1,435団体)となっています。

平成30年7月から9月の見学者数は、以下の皆様をはじめ計140名(10団体)でした。

7月 11日、12日	大阪市消防署員の皆様	(計59名)
8月 8日	自治体環境担当部門の皆様	(11名)
8月 9日	廃棄物・資源循環を研究されている大学教員や学生の皆様	(54名)



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

当社のホームページを参照ください。または、総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム(月～金曜日の午前10時から午後4時まで)
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日(午前10時から・午後2時から)

【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業(株)大阪事業所

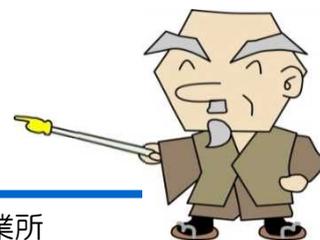
TEL: 06-6468-0575

ホームページ: <http://www.jesconet.co.jp>



洲男(しまお)

舞子(まいこ)



べん蔵(べんぞう)



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業(株) 大阪PCB処理事業所

総務課/安全対策課/運転管理課 06-6468-0575

営業課(弁天事務所) 06-6575-5575